市町村名	今帰仁村

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	景観形成強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

・村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入れ体制を整える。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	77,061	50,430			
	(b)予算現額	77,061	50,430			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)前年度繰越額	－	0	14,336		
	A．計(b+d)	77,061	50,430	14,336		
B．執行済額		72,348	36,094	14,351		
うち交付金充当額		57,878	28,875	10,972		
次年度繰越額		0	14,336	0		
執行率（%）(B/A)		93.9%	71.6%	100.1%		

予算の状況の説明

・繰越を行った事業についてはすべて実施した。
・工事箇所における舗装の状況が予想以上に悪く、当初予定していなかった路盤材の強度試験を実施する必要が生じ、その対応に不測の日数を要したことから、繰越を行うこととなった。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
歩きやすい歩行空間の確保（道路の舗装、粉塵防止、防護柵設置等）	目　標	（　2.2km　）	（道路の舗装、粉塵防止、防護柵設置等）	（　　）	（　　）
	実　績	2.2km	道路の舗装、粉塵防止、防護柵設置等の実施		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・景観に配慮し、観光客が安全に歩行しやすい道路整備（舗装工事、防護柵設置工事）を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
快適な観光アクセスルートの整備	目　標	（　　）	（　2.2km　）	（　4.7km　）	（　　）	（　　）
	実　績		2.2km	4.7km		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・透水性舗装施行による路面温度の低減、防護柵、舗装施行による安全で快適な歩行空間の確保を行った。

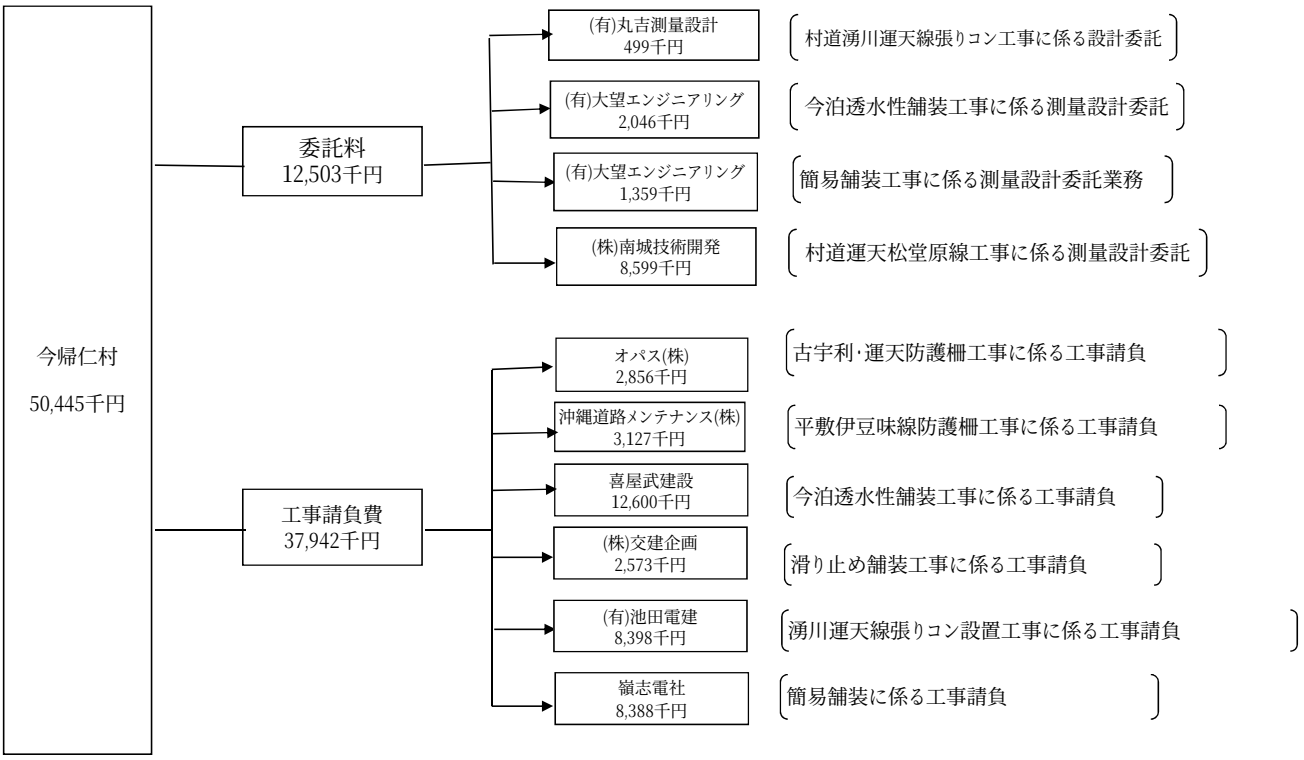
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・観光客車両が増大する中、未舗装道路の舗装敷設、張りコンクリート設置により、より安全に通行が可能となり観光客受け入れがおこなえた。 ・簡易的な舗装は現道のみの整備となるが、境界に疑義を生ずることなく、施行するために事前に隣地の権利者と確認（同意）をもらう必要がある。	・今後観光客の来訪に備え、安全に通行が可能となるよう、さらに路面状態を良好に保つため継続的な舗装、張りコン設置が必要である。

今後の取り組み方針

継続的に今帰仁村内の景観に配慮した道路整備を進めていく。
・張りコンクリート設置（一平敷）
・防護柵設置（平敷・天底・上運天・運天・兼次）
・滑り止め舗装（呉我山）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
50,445	50,445	39,847	10,598	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は三者見積り、工事請負業者は指名競争により入札を行い、妥当であったと考えている。 ○予算規模つきましては、適正規模であると考えております。 ○使途については、事業目的の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－⑨	今帰仁城跡周辺環境整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	・世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効利用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度（繰越）	26年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,200	-	61,900		
	(b)予算現額	16,464	-	51,841		
	(c)増減額(b-a)	2,264	-	▲ 10,059		
	(d)前年度繰越額	ー	12,054	0	35,818	
	A．計(b+d)	16,464	12,054	51,841	35,818	
B．執行済額		4,410	12,054	16,023	35,719	
うち交付金充当額		3,528	9,643	12,818	28,576	
次年度繰越額		12,054	ー	35,818	ー	
執行率（%）(B/A)		26.8%	100.0%	30.9%	99.7%	
予算の状況の説明		・河川工事にあたり、工事の施工上障害となる家屋補償の同意を得るために、不測の日数を要し繰越を行った。 ・当初計画していた事業内容をすべて実施し、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・当初両岸（左・右）の工事を予定していたが、工事の施工上右岸の工事を先行し完成させるため工事費10,059千円の減額補正を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・用地測量　１２筆分筆測量 ・河川改修工事　Ｌ＝９０ｍ	目　標	（　実施設計・測量・調査設計の実施　）	（　１２筆分筆測量 河川工事　Ｌ＝９０ｍ　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施設計・測量・調査設計の完成	１３筆分筆測量の完成 河川工事　Ｌ＝９０ｍ完成		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：・用地買収１３筆を実施し、また、河川工事（右岸）延長９０ｍの工事も実施した。特に河川環境に配慮した工事を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築 ・平成２５年度は延長５６０ｍの内９０ｍの工事を実施する	目　標	（　　）	（　実施設計・測量・調査設計の実施　）	・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築 ・Ｌ＝９０ｍ工事の実施	（　　）	（　　）
	実　績		実施設計・測量・調査設計の完成	・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られた ・観光客の安全・安心な観光基盤構築が図られた ・Ｌ＝９０ｍ工事の完成		

進捗状況説明：・河川延長560ｍの内・下流側右岸のＬ＝９０ｍを完了した。今後、下流側左岸工事を実施し上流側の河川工事を実施する。
・河川敷きを整備することで河川流路の治水安全度の確保がなされ、また、河川の上流にある今帰仁城跡に訪れる観光客の安全・安心な基盤整備の構築ができた。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・本村の観光拠点である世界遺産今帰仁城跡との景観を配慮した河川工事を行った。 ・今後も河川環境に配慮し、工事を推進する必要がある。	・今後、河川環境に配慮しながら、改修工事を推進する必要がある。

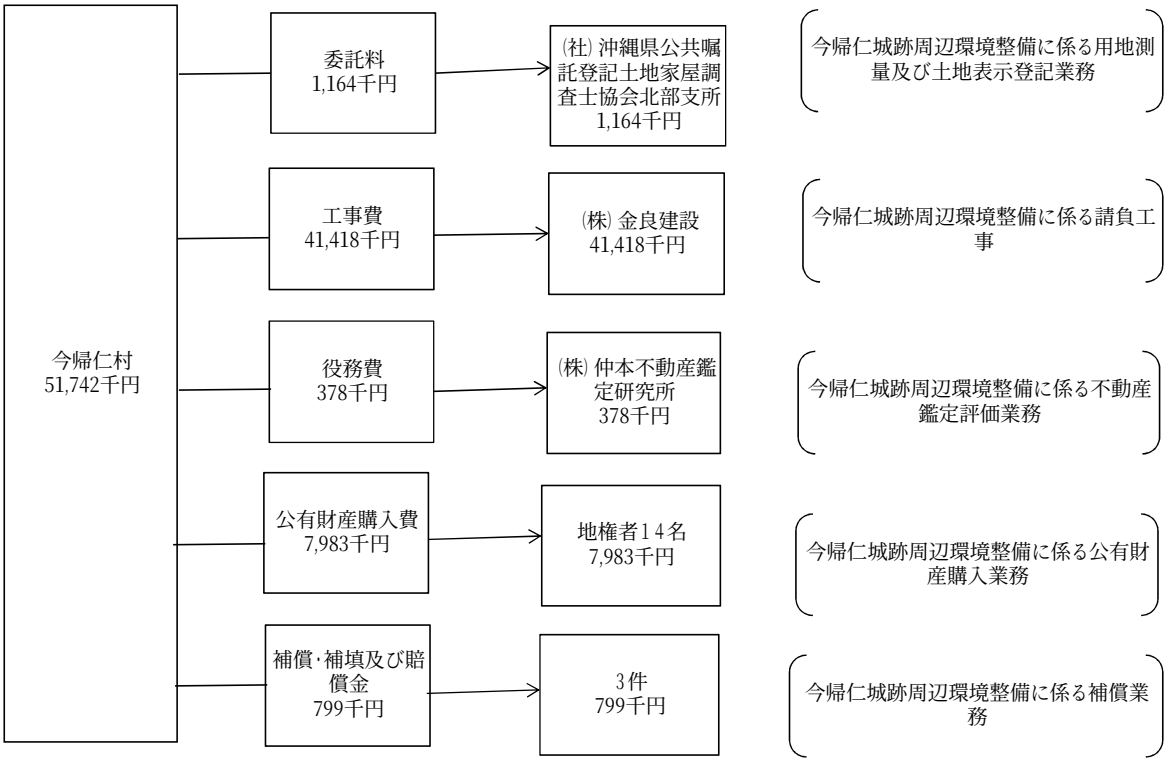
今後の取り組み方針

・今後も、世界遺産今帰仁城跡の景観に配慮した工事（用地取得及河川工事）を推進する。また、河川敷の空間を有効活用し、治水安全度の向上を図るとともに、地域で緑化や美化に取り組むことで、観光客受入体制の強化につなげたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
51,742	51,742	41,394	10,348	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、見積で行い、工事請負業者については指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○予算規模につきましては、10,059千円を減額し繰越を行ったが、適正な規模だと考えている。 ○費目・使途は事業目的の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書面により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村

平成２５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－①	地域活動拠点活性化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（７）－イ 交流と共創による農山漁村の活性化
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	・上運天地区は伊是名・伊平屋島の発着点である運天港を有する地域である。今後も地域住民の交流の場でもあり、かつ各種行事・伝統芸能（豊年祭等）の練習や料理教室を通して、観光客とも交流ができる拠点としての施設を整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	25年度（繰越）	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	73,104				
	(b)予算現額	82,427				
	(c)増減額(b-a)	9,323				
	(d)前年度繰越額	0	35,818			
	A．計(b+d)	82,427	35,818			
B．執行済額		46,608	35,995			
うち交付金充当額		31,072	23,879			
次年度繰越額		35,818	ー			
執行率（%）(B/A)		56.5%	100.5%			
予算の状況の説明		・予算9,323千円の増額は、実施設計による工事費の増である。 ・基礎工事の施工にあたり、仮設工（土留工）の工法の再検討が必要になったため、その対応に不測の日数を要し繰越を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
・地域活動拠点施設の設計及び建築工事の実施	目　標	（実施設計・建築工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計・建築工事の完成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・地域活動拠点施設については、実施設計及び建築工事を予定どおり実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
・地域活動拠点施設の完成	目　標	（　）	（地域活動拠点施設の完成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		地域活動拠点施設の完成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：・地域活動拠点活性化施設（面積299.55㎡）が完成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・地域住民の交流の場でもあり各種行事、伝統芸能（豊年祭）の練習や料理講習及び観光客とも交流のできる拠点施設の基盤強化が図られた。	・地域住民の交流の拠点施設としての基盤強化に伴い、今後は、地域の各種行事、伝統芸能等の推進を図りつつ、適正な施設管理に努める必要がある。

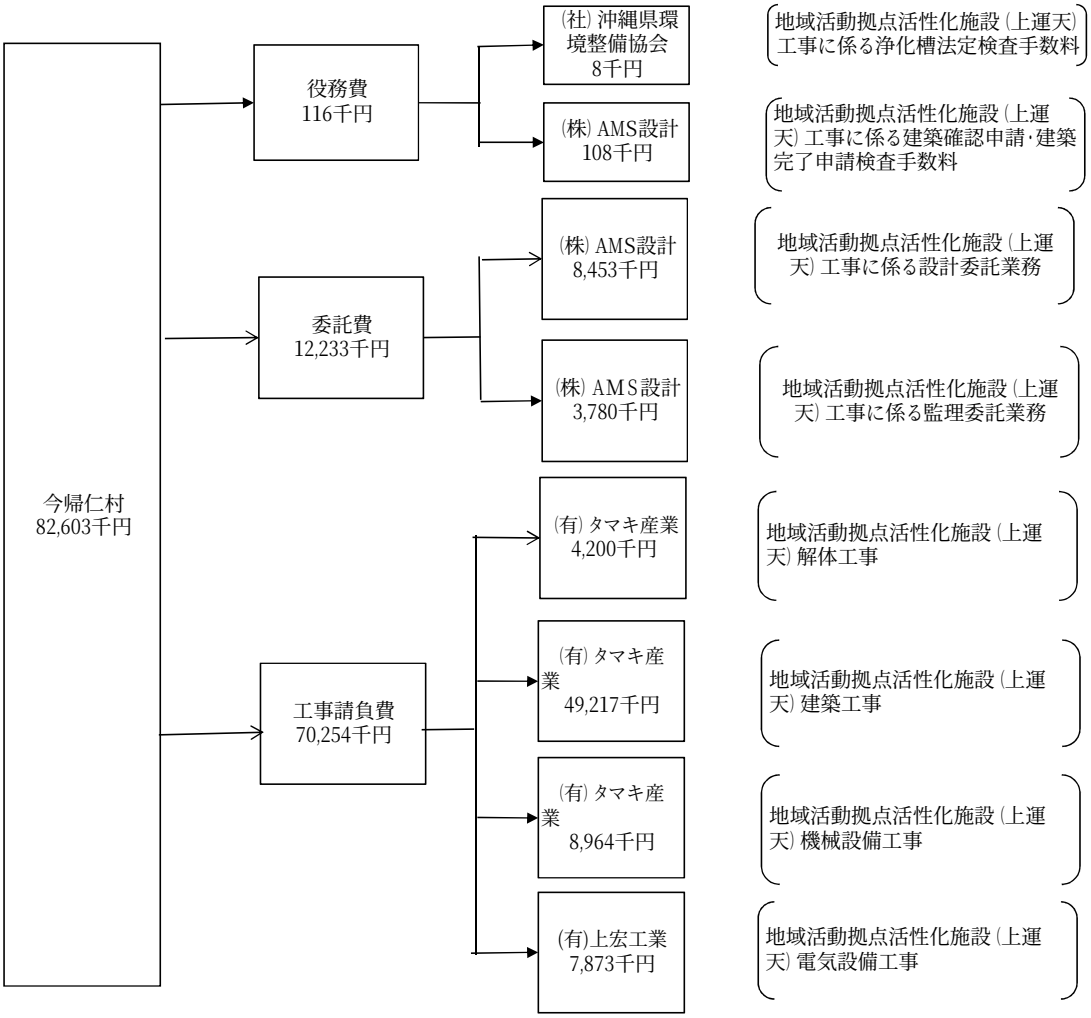
今後の取り組み方針

・地域住民の交流の場としての拠点施設の完成に伴い、今後は、住民及び観光客等が常に快適に利用できるように、適正な施設管理及び運営を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
82,603	82,603	54,951	27,652	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び工事請負業者は、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。 ○予算規模につきましては、設計時点の工事費の増額（9,323千円）を行ったが、適正な規模であり適正な執行ができたと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	